

令和7年度 教科名 学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
4月	自然の中にあふれる生命	観察器具の操作、観察記録のしかたなどの技能を身につける。
	いろいろな物質とその性質	見た目の似ている物体について、それぞれを物質として区別する方法を考え、説明する。
5月	自然の中にあふれる生命	校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを見いだす。
	いろいろな気体とその性質	様々な気体を発生させ、その性質を調べ、共通する性質を見出す。
6月	自然の中にあふれる生命	いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとにして分類できることを理解する。
	いろいろな気体とその性質	身の回りのものを使い、気体を発生させ、既習事項を基に気体を判別することを通して、気体の性質の理解を深める。
7月	植物の特徴と分類	植物の外部形態に共通点や相違点があることを見いだし、植物の体の基本的なつくりを理解する。
	水溶液の性質	水溶液の性質、および溶質、溶媒について理解し、溶質を溶かしたときの変化について考える。
8月	水溶液の性質	一定量の水に溶ける物質の量は何に関係するのかという問題について進んで関わり、見通しをもち、科学的に探究する。
	物質のすがたとその変化	固体、液体、気体の状態によって粒子の並び方や運動のようすが異なること、状態変化において変化するものとしなないものがあることを理解する。
9月	植物の特徴と分類	植物の外部形態の共通点や相違点にもとづいて植物が分類できることを見いだし、理解させる。
	物質のすがたとその変化	物質によって沸点、融点が変わること、状態変化と温度の関係性を理解する。
10月	動物の特徴と分類	主に脊椎動物について、外部形態から、共通点や相違点があることを見いだし、動物の体の基本的なつくりを理解する。 動物の外部形態の共通点や相違点にもとづいて動物が分類できることを見いだす。

	物質のすがたとその変化	沸点の差を利用し、混合物を分けることができることを理解する。
1 1 月	動物の特徴と分類	主に無脊椎動物について、外部形態から、共通点や相違点があることを見だし、動物の体の基本的なつくりを理解する。 動物の外部形態の共通点や相違点にもとづいて動物が分類できることを見いだす。
	光による現象	光の反射の仕方、空気と物質との境での屈折の仕方を理解する。
1 2 月	身近な大地	大地の成り立ちなどを理解する。
	光による現象	凸レンズのはたらきについて基本的な概念や原理原則を理解する。
1 月	ゆれる大地	地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解し、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。 地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解する。
	音による現象	音についての実験を行い、音が振動であること、音の高さや大きさは振動の仕方に関係することを見出す。
2 月	火をふく大地	さまざまな火山の活動などを調べ、それらのようすはマグマの性質が深く関係していることを考察する。 マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。
	力による現象	物体に力を働かせる実験を行い、力が物体に及ぼす作用を見出す。また力は大きさと向きによって表されることを理解する。
3 月	語る大地	地層の重なり方や広がり方の規則性を捉える。 構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測することを通じて、地層のでき方を理解する。 大地からの恵みや災害について理解する。
	力による現象	力が働いていても動かないことがあること、またその条件について実験を通して理解する。